平成24年3月22日

各 位

上場会社名　和田興産株式会社
代表者　代表取締役社長 小阪　堅三
（コード番号　8931）
問合せ先責任者　取締役 梶原　忍
（TEL　078-361-1510）

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成24年1月10日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成24年2月期通期個別業績予想数値の修正（平成23年3月1日～平成24年2月29日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	23,200	2,400	1,700	900	90.00
今回修正予想(B)	22,550	2,560	1,850	670	67.00
増減額(B-A)	△650	160	150	△230	
増減率(%)	△2.8	6.7	8.8	△25.6	
(ご参考)前期実績（平成23年2月期）	28,231	2,048	844	428	42.90

(注)上記の予想は本資料作成の発表日現在において、入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

修正の理由

平成24年2月期の業績につきまして、売上高は主力の分譲マンション事業において、当初予定しておりました販売戸数が29戸減少し、585戸の引渡になることで約1億9千万円減少いたします。また、その他不動産販売では戸建住宅の販売で引渡戸数が16戸減少するとともに、当初販売を予定しておりました1物件の土地売却が来期以降になることで、売上高は約6億円減少いたします。
一方、賃貸事業においては賃貸物件の稼働率が順調に推移したことから約1億2千万円、その他の収入で2千万円増加いたします。この結果は当社全体の232億円の予想売上高から約6億5千万円減少し、225億5千万円の着地となる見通しであります。

利益面につきましては、分譲マンション、戸建住宅において引渡戸数は減少いたしましたが、販売活動が概ね順調に推移したことを受け、売上総利益率の向上、経費負担の圧縮等により、営業利益は約1億6千万円増加、経常利益は約1億5千万円増加し、営業利益25億6千万円、経常利益18億5千万円となる見通しであります。

なお、当期純利益につきましては、財務体質の強化に向けた対応の観点から、立体駐車場5物件の売却予定に伴う減損損失約5千万円の計上等に加え、来期以降における繰延税金資産の回収可能性の判断を保守的に行ったことより、税金費用が約2億円増加することから、9億円の予想から6億7千万円に減少する見通しであります。

以 上